

会議録【全文筆記】

|   |   |                  |
|---|---|------------------|
| 会議名称  | 令和5年度 第2回置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録   |                  |
| 開催日時  | 令和5年12月13日(水) 午前10時00分～午前11時20分   |                  |
| 開催場所  | 米沢市役所 3階 庁議室  |                  |
| 出席者   | (委員等氏名)   | (所属団体等)          |
|   | 会長 野々村美宗  | 山形大学大学院理工学研究科    |
|   | 副会長 田中明子  | 米沢商工会議所          |
|   | 委員 加藤里美   | 米沢市民生委員児童委員連合協議会 |
|   | 委員 佐藤きく   | 米沢市婦人防火指導員連合会    |
|   | 委員 鈴木正弘   | J A山形おきたま        |
|   | 委員 西川友子   | 山形県立米沢女子短期大学     |
|   | 委員 中井 晃   | 山形鉄道株式会社         |
|   | 委員 結城秀人   | 南陽市観光推進会議        |
|   | 委員 宮原博通   | 高畠町政策審議会         |
|   | 委員 菅井 厚   | 川西町まちづくり委員会      |
|   | 委員 高橋和衛   | 小国町振興審議会         |
|   | 委員 吉田博之   | 白鷹町振興審議会         |
|   | 委員 鈴木正人   | 飯豊町振興審議会         |
| 欠席者   | (委員等氏名)   | (所属団体等)          |
|   | 委員 遠藤央子   | 白布温泉 湯滝の宿 西屋     |
|   | 委員 小泉玲子   | 米沢観光コンベンション協会    |
|   | 委員 小関洋子   | 米沢市青少年育成市民会議     |
|   | 委員 清野雅好   | 米沢市社会福祉協議会       |
| オブザーバー  | 長井市総合政策課長、南陽市みらい戦略課長、高畠町企画財政課長補佐、川西町まちづくり課企画調整主幹、小国町総務企画課長、白鷹町企画政策課企画調整係主査、飯豊町企画課総合政策室主事、置賜総合支庁総務企画部総務課連携支援主査 |                  |
| 事務局   | 米沢市企画調整部長、政策企画課長、政策企画課長補佐、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、置賜広域行政事務組合事務局次長兼総務課長、総務課長補佐兼企画財政係長、総務課企画財政係主査                   |                  |
| 会議次第  | 1 開会<br>2 会長あいさつ<br>3 協議<br>(1) 置賜定住自立圏第2次共生ビジョン(案)について<br>4 その他<br>5 閉会                                      |                  |
| 会議資料  | 次第名簿<br>資料1 置賜定住自立圏第2次共生ビジョン(案)概要版<br>資料2 置賜定住自立圏第2次共生ビジョン(案)本冊<br>資料3 策定スケジュール(案)について                        |                  |
| 会議内容  |   |                  |
| 【1 開会】<br>省略<br>【2 会長あいさつ】<br>本日はお忙しい中御出席いただき感謝申し上げます。ビジョン懇談会は7月に第1 |   |                  |

回を開催させていただきました。たくさんの御意見をいただき感謝申し上げたいと思います。今回は前回いただいた御意見とその後の審議の内容を盛り込み、改定案ということで出されております。本日は内容を皆様に御確認いただき、改めて御意見をいただきたいと思っております。ビジョンは5年間ですが、今後の10年間、20年間の地域の未来にも影響するところですので、活発な御意見をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

### 【3 議事】

#### (1) 置賜定住自立圏第2次共生ビジョン（案）について

(資料2に基づき説明。)

委員

3 ページの各市町の概況について、特産品、観光施設、主な催しも大事ですが、各市町のポテンシャル、エネルギーは何かを述べる必要があるのではないかと思います。3市5町が効果的に連携していく上で、各市町の基幹産業は何かを述べる必要があるのではないかと思います。7 ページの圏域の人口について、人口減少社会で重要なことは一次産業、二次産業、三次産業の人口はどのように変わっているか、とりわけ一次産業の人口は急激に減っていて、後継者不足の問題もあります。例えば、農業の就業人口が減り、耕作放棄地も増え、それに伴い生活環境も変わるように影響するわけですから、基幹産業や産業別の人口減少に伴い、どう連携していくかも大きな課題だと思います。14 ページの医療について、医療体制の充実も喫緊の課題だと思いますが、重要なことは医療負担を軽減していくことだと思います。子どもから高齢者までの健康の維持・増進、確保をどうするかという施策が必要だと思います。3市5町には、良い食べ物、良い空気、良い水、先人の知恵として発酵の知恵等があるわけですから、そういったものを駆使しながら健康を確保していくべきだと思います。21 ページの農畜産物等の振興について、稲作も果樹も生産だけではなく、付加価値をつけて効果的な展開を図ることが課題だと思いますので、何を連携していくかというビジョンが盛り込まれて良いのではないかと思います。25 ページの商工業の活性化と雇用促進について、商工業が基幹産業でもあるわけですから、3市5町で共有する可能性をどこに見い出すか述べる必要があると思います。観光系でまとまっていますが、一次産業、二次産業、三次産業を全体的に見ていくことが重要だと思います。

事務局

3 ページについて、観光資源や各市町の特徴を記載しましたが、そういった視点は欠けていたと思いますので、事務局で持ち帰って検討したいと思います。7 ページについて、産業毎の内訳も必要だったところですので、事務局で持ち帰って検討したいと思います。14 ページについて、本市も健康長寿日本一を掲げており、議論したところですが、3市5町が連携した取組まで協議しきれていない部分があったと思います。一方で、18 ページ以降には福祉・健康事業の充実という項目があり、先ほど御説明した長井市の軽運動場整備についても記載していますので、さらに書き込めるか検討したいと思います。21 ページについて、付加価値を高める重要性は認識していますので、どのような記載ができるか担当課に意見を聞きながら検討したいと思います。25 ページについて、現在は産業人材の確保という記載でしたので、今後検討したいと思います。

委員

19 ページの自殺対策について、自殺者が非常に多くなっているとい

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>う話を伺っており、ゲートキーパー研修もありますが、お互い見守ることや助け合うことが薄れてきている中、対策を連携して講じていく必要があるのではないかと思います。</p>  |
| 会長  | <p>自殺死亡率の現状は、置賜地域で10万人当たり平成29年が23.4人、平成30年が16人、令和元年が22.1人、令和2年が15.5人、令和3年が18.8人という推移です。令和3年に限り申し上げますと、県内では最上地域が33人、庄内地域が22人、置賜地域が18.8人、村山地域が17.8人という順で、概ね横ばいかやや減で推移しています。3市5町でもアウェアネスリボンという水色のリボンを今年度から作りまして、啓発活動に一層力を入れ、来年早々にも3市5町の職員に自殺対策の講座をするなど、地道な活動を続けているという状況です。</p> |
| 事務局 | <p>その他にも窓口があり、具体的な相談に対応するなどの対策もこの事業とは別にしていると思うのですが、補足いただけたらと思います。</p>   |
| 委員  | <p>悩んでいらっしゃる方に対し、様々な窓口で対応できるよう各自自治体で対策している状況です。また、ゲートキーパーの重要性も認識しており、成果指標として包括的な自殺対策ができる市町の支援窓口を設定し、全自治体に設置する形で進めているところです。</p>  |
| 事務局 | <p>いくつかの事業で事業費見込が0ですが、例えば、39ページの行政DXについても経費を勘案したほうが良いでしょうし、研修費もかかると思いますので、気になりました。</p>  |
| 委員  | <p>行政DXについては、無料ツールを使う部分もあるのですが、具体的にどういったものをするかまともならないところもありまして、研修等を中心に進めていこうという話になってはいますが、具体的な事業ができるとなれば、事業費を記載したいと思います。他に、米坂線については、具体的な復旧には多額の費用がかかりますが、まずJRに対して要望していくことが主となりますので、事業費は0になっています。その他についても、あくまで見込で記載していますが、今後具体的に始められる事業があれば事業費を追記していきたいと考えています。</p>          |
| 事務局 | <p>資料の作り方について、カラフルな資料を簡単に作れるようになったのは承知していますが、色が多すぎると目が疲れます。例えば、29ページは赤文字だけなので、文字は黒いままが読みやすいのではないかと感じました。</p>  |
| 委員  | <p>確かに見づらいと思います。ホームページでもアクセシビリティということで、弱視の方が見やすいよう気をつけているところでもありますので、より見やすい資料づくりに努めたいと思います。</p>   |
| 事務局 | <p>33ページの米坂線について、小国町民にとって大きな関心事ですが、連携効果として置賜圏域だけでなく、広くは仙台・新潟をつなぐ路線ということがありますので、大きい意義があるという表現にしてもらったほうが良いと思いました。米坂線にあわせて、新潟山形南部連絡道路の早期完成も大きな要望事項だと思っています。こちら日本海と太平洋をつなぐ意味を持っていますが、ビジョン掲載にあたって経過等があれば教えてください。</p>   |
| 事務局 | <p>米坂線については、豪雨災害を受け、新規項目として挙げたものになります。これまで次ページの圏域内の鉄道路線の利用促進、フラワー長井線とあわせて記載していましたが、昨年の豪雨を受け、3市5町でも国に要望活動を続けていますが、圏域だけでなく横軸の非常に重要な鉄</p>  |

道路線だということで首長の意向も受け、掲載したものとなっています。多額の費用がかかり大きな課題もありますが、JRに粘り強く要望活動を実施したいという意思表示も含め、ビジョンに掲載している経過があります。また、113号については、36ページに圏域内における道路整備の推進があり、置賜総合開発協議会という3市5町の首長、議長等が様々な要望活動を行っている団体がございます。縦軸の東北中央道は開通されたということがあり、横軸の新山道については重要な路線だということで、これまで協議会を通して、国・県に高規格化の要望を行っています。また、置賜圏域を縦断する287号についても、道路の幅が狭いといった事情があり、要望を行っているところです。特に、今回は米坂線の現状を踏まえ、新規項目として掲載したところで、今後も引き続き関係機関への要望活動や意識醸成等、3市5町連携して取り組んでいきたいと考えています。

委員

20ページについて、現行ビジョンにあった二つの事業が削除されるということで話し合いが進められました。事業費見込もないので仕方ないだろうと思っていたのですが、教育環境・生涯学習の充実というタイトルでありながら、生涯学習の事業が全くないという状況になったということですが、これは事業としては取り上げないが、その部分は進めていくという理解で良いかという質問をしたいと思います。さらに、第3次共生ビジョンを策定するまで、生涯学習の充実で一緒にやっていけないか検討いただければありがたいと思ったところです。

事務局

各種講座、企画展の実施等は事業費がないので削除したという経過がありました。ただ、これまでも各市町で開催する各種講座等の情報共有も進めてまいりましたし、事業費はないですが、実際に取り組んでいるものでございます。現在、3市5町連携して取り組むものが具体的に整っていない部分もありますので、次期ビジョンに向け、今後検討したいと考えています。

委員

17ページの児童遊園施設について、米沢市にくてもができ、長井市にくるとができ、高島町にもつくるができ、市外の利用者が非常に多いと聞いており、大変良いことだと思います。私もくてもを見せていただきましたが、それぞれ遊具が違うので遊ぶ年齢層も違って大変良いと思いました。それぞれ情報発信も行うということですが、自分の情報しか出ないと思いますので、圏域内の子どもたちが遊べるマップを作ってください、例えば、南陽市には屋外の大型遊戯施設もありますので、連携をとれるような情報発信をしていただきたいと思います。18ページの成年後見センターのKPIについて、市民後見人の養成者数が出ていますが、成年後見人の利用者数も考える必要はないでしょうか。或いはKPIに入れなくてもどのくらいの利用者数があるという情報はほしいと思います。ペットボトルキャップの再利用については、検討いただきありがとうございます。圏域内でどのくらいの量が出るか或いはどのくらいの費用がかかるかを検討しないと事業化は決められないと思いますので、事業化が可能か検討いただければと思います。35ページの路線バスの運行について、各市町でバスに代わる対策をいただいているのは分かりますが、隣の市町に行ける路線がありません。長井市から南陽市に行く際も、置賜総合病院まで行き、南陽市のバスに乗り継ぐ形であれば行けるということで、バスを利用されている方がいました。デマン

ドタクシーですと地元の住民しか乗れないという制約もあります。事前に予約も必要なようですので、連携して使えるシステムができればという感じがします。

事務局

児童遊園施設について、米沢市も含め、子どもの遊べる施設ができていくということで、圏域住民が利用できることを分かりやすくする仕組みが必要かと思えます。各市町と協議しまして記載できるかどうか検討したいと思えます。成年後見制度のKPIについては、利用者数が増えれば良いかという議論が出てくるかと思えますので、利用する方は様々な事情があり制度を利用する形になるものですから、このKPIを設定させていただきました。路線バスについては、これまで議論してきたのですが、市町の垣根を越えてやるには様々な課題があります。デマンドタクシーだと地元のタクシー会社を使っているという事情があり、圏域を超えるとハードルが高くなるなどありますが、利用する方からは置賜総合病院に行けるような交通の仕組みが必要だという意見が多いと感じていますので、引き続き大きな課題として捉えたいと思えます。

会長

成年後見制度について、より利用しやすい制度にすべきではないかという趣旨の御意見だったと思えますので、KPIは設定しなくて良いかと思えますが、検討いただければと思えます。路線バスについては、住民の皆さんの利便性を第一に考えて検討いただければと思えます。

委員

フラワー長井線や米坂線の活用が言われており、その中でデマンドタクシーも問題になっていますので、鉄道を使いながらデマンドタクシーを利用するようなことを考えられないかと思えます。デマンドタクシーを利用して駅に行き、鉄道を使うというルール作りをしたほうがどちらも成り立つのではないかと思えます。

委員

25 ページの産業人材の確保・定着の促進について、事業費を増額していただきありがとうございます。今後、ますます若年労働者の確保が大事になってくるかと思えます。19 ページについて、ゲートキーパーの話があったかと思えます。本日、健康課から電話をいただきまして、ゲートキーパーの養成を受けていただける企業が少ないということで、協力いただけないかという話だったのですが、いきなり養成講座を受けてくださいと言っても難しいと思えますので、健康経営の一環で健康経営認定法人を受けている企業もたくさんありますので、そういった切り口も良いと話したところでした。35 ページの道路除雪の路線交換について、白鷹町と小国町だけ抜けているのは、地域的に単独でできているか教えていただければと思えます。

事務局

あくまでも市道或いは町道の路線交換で、県道・国道につきましては、県・国としているということになります。市道・町道について路線交換することで、より効率的に少ない費用で除雪ができるというところが3市3町という状況です。

委員

19 ページの室内軽運動場等整備について、事業名に福祉の増進とありますが、役割分担として室内軽運動場等として活用できるよう整備するとあり、整備するだけか、できた後に維持管理や情報発信を行うかというところが分かりにくいと思えました。また、事業名として福祉の増進とだけありますが、内容は健康増進も含まれているので、福祉・健康と入れたほうが分かりやすいと思えました。成果指標で施設利用者数が目標にあるので、整備だけではなく維持管理も必要であれば、それも盛

事務局

り込んだ内容にしたほうが良いと思いました。

現時点では令和8年以降の費用が0となっていますが、当然、発生するものと認識しています。事業名についても、長井市と協議して変更可能か検討したいと思います。

会長

私から2点コメントします。一つ目が子育てについてです。昨今、テレビ等を見ていると、子育て世代への支援とか教育の充実というところが話題になっていて、その世代にとってはどこに住むかを決めるための非常に大事なポイントになっていると実感しています。今、議論になっているのは、比較的首都圏に多いわけですが、今後はこちらの地方にも来るのではないかと考えています。現在も金銭的なサポートだけではなく、施設、教育事業の取組をしていることは承知していますが、ビジョンにも盛り込んでいただく方向で検討いただければと思うところです。今回、具体的に入れることは難しいかもしれませんが、今後の検討課題として入れていただけると嬉しいと思います。もう一つが先ほど地域のポテンシャルについての御意見がありましたが、学園都市を御利用いただければと思っています。20万人の地域で複数の高等教育機関があるというのは非常に珍しいと思いますので、御利用いただきたいと思っています。例えば、私どもの活動を御紹介させていただくと、力を入れている点が三つほどあります。一つはものづくりです。この地域の産業で、例えば、組立や材料というところが大きいので、そちらへ貢献させていただければということがあります。そして、非常に力を入れているのが農業と情報人材の育成です。例えば、農業の産業化ということをして大学全体で取り組んでいて、農学部だけではなく工学部でも米の高付加価値化や技術開発の取組をしています。情報系も新しい大学院の専攻について、準備しています。地域課題を解決する拠点を産業界とも連携してやっていこうということですので、御利用いただければと思っています。ビジョンの中だと教育や産業振興、健康長寿等でお役に立てるのではないかと考えていますので、長期的な検討課題だとは思いますが、背景に盛り込んでいただくなど検討いただければ嬉しいと思います。

【4 その他】

特に意見等はなし

【5 閉会】

省略